

SCHEDULE 1→3月

展示会スケジュール

2023	1月	2月	3月	Webサイトも チェック!
大阪市立 自然史博物館 大阪市東住吉区長居公園1-23 TEL:06-6697-6221 開館時間:9:30~17:00 11月~2月は16:30まで (入館は閉館の30分前まで) 休館日:月曜(1/9は開館)、1/10、 年末年始(12/28~1/4)	テーマ展示 「ジュニア自由研究・ 標本ギャラリー」 小・中学生、高 校生のみなさ んの作った生き物や岩石・化石の標本、およ び生物・地学分野の自由研究を展示します。 1/5~1/29 新春ミニ展示 「卯年展」 卯年に関連して、「ウサギ」にまつわる標本を展示します。	特別展 「大阪アンダー グラウンド RETURNS」 地面の下がどのよう になっているのか、地質試料、化石、鉱 物などさまざまな標本で紹介します。	特別展「毒」 動物、植物、菌類、 そして鉱物や人工 毒など、自然界の あらゆるところに 存在する毒について、各研究分野のスペ シャリストが徹底的に掘り下げ、それ ぞれの視点で解説していきます。	
	プラネタリウム 「火星を歩く」/「オーロラ」 探査機と一緒に火星の地表面を歩いたり、「オーロラ」の秘密に迫ったり。迫力あ る映像で宇宙を体感しましょう。 写真:中垣哲也	サイエンスショー 「酸・アルカリの カラフル実験」 身近にあるもので簡単 に酸性・アルカリ性を調べるができます! どんな色が出てくるのでしょうか? 地球から近いところにある 星たちを、ぐるっと立体的に 見てみましょう!	プラネタリウム 「ブラックホールを見た日 ~人類100年の挑戦~」 100年間、不可能だった ブラックホールの直接撮 影に挑んだ国際プロジェ クトEHTとは...? ©ブラックホールを 見た日製作委員会	
大阪市立 科学館 大阪市北区中之島4-2-1 TEL:06-6444-5656 開館時間:9:30~17:00 (展示場入場は16:30まで、 プラネタリウム最終投影は16:00から) 休館日:月曜(1/9は開館)、1/10、2/27~3/1、 年末年始(12/28~1/4)	特別企画展 「—橋本コレクション受贈記念— 文明開化のやきもの 印版手」 国内屈指のコレクターであ る橋本忠之氏から寄贈を受 けた1,129点の印版手コレ クションから、厳選した作品 を展示します。	特別企画展 「銀行重役のコレクション —京・大阪の近世絵画を中心に—」 大阪の山口財閥の主要な企業であった山口銀行の重役を務めた西田家に 伝来した京都・大阪の幕末から近代に描かれた絵画を紹介します。	1/21~3/21 国内屈指のコレクターであ る橋本忠之氏から寄贈を受 けた1,129点の印版手コレ クションから、厳選した作品 を展示します。	
	「五畿内産物図会」 大阪歴史博物館蔵 1/23 「大阪近郊の農業 —農具とわざの諸相—」 都市大阪の周辺地域で営まれた農業に ついて、農具や写真などの関連資料を 展示し、そのあり方を考えます。	1/25~3/21 大阪の山口財閥の主要な企業であった山口銀行の重役を務めた西田家に 伝来した京都・大阪の幕末から近代に描かれた絵画を紹介します。	1/21~3/21 国内屈指のコレクターであ る橋本忠之氏から寄贈を受 けた1,129点の印版手コレ クションから、厳選した作品 を展示します。	1/21~3/21 国内屈指のコレクターであ る橋本忠之氏から寄贈を受 けた1,129点の印版手コレ クションから、厳選した作品 を展示します。
大阪 歴史博物館 大阪市中央区大手前4-1-32 TEL:06-6946-5728 開館時間:9:30~17:00 (入館は閉館の30分前まで) 休館日:火曜(祝日・休日の場合は翌平日)、 年末年始(12/28~1/4)	「ロートレックとミュシャ バリ時代の10年」 1/9 大阪中之島美術館 国立国際美術館 共同企画 「すべて未知の世界へ — GUTAI 分化と統合」 ※本展は国立国際美術館との共同 開催となります。休館日や料金も 異なりますので、詳細は各館の ホームページをご覧ください。	芸術の都パリで「よき時代(ベル・ エポック)」の双璧をなしたロート レックとミュシャ。共通して取り 組んだ石版画ポスターを中心に ご紹介します。 1954年に結成され国内外で注目を 集めた美術家集団、具体美術協会 (具体)。「すべて未知の世界へ」と 突き進んでいった彼ら/彼女らの あゆみをご覧ください。	開館1周年記念特別展 「大阪の日本画」 明治から昭和に至る近代 大阪の日本画に光をあて、 50名を超える画家による約 150点の作品を展示します。 1/21~4/2	
	大阪中之島美術館 国立国際美術館 共同企画 「すべて未知の世界へ — GUTAI 分化と統合」 ※本展は国立国際美術館との共同 開催となります。休館日や料金も 異なりますので、詳細は各館の ホームページをご覧ください。	芸術の都パリで「よき時代(ベル・ エポック)」の双璧をなしたロート レックとミュシャ。共通して取り 組んだ石版画ポスターを中心に ご紹介します。 1954年に結成され国内外で注目を 集めた美術家集団、具体美術協会 (具体)。「すべて未知の世界へ」と 突き進んでいった彼ら/彼女らの あゆみをご覧ください。	開館1周年記念特別展 「大阪の日本画」 明治から昭和に至る近代 大阪の日本画に光をあて、 50名を超える画家による約 150点の作品を展示します。 1/21~4/2	開館1周年記念特別展 「大阪の日本画」 明治から昭和に至る近代 大阪の日本画に光をあて、 50名を超える画家による約 150点の作品を展示します。 1/21~4/2
大阪 中之島美術館 大阪市北区中之島4-3-1 TEL:06-6479-0550 開館時間:10:00~17:00 (展覧会会場への入場は閉場の30分前まで) 休館日:月曜(1/2、1/9は開館)、12/31、 1/1、1/10~1/20	改修工事のため2025年春(予定)まで休館 ▶ 休館中もオンラインイベントなどを開催予定!			
	改修工事のため2023年秋(予定)まで休館 ▶ イベントの詳細や視聴方法はWebでチェック!			
大阪市立美術館 大阪市天王寺区茶臼山町1-82 (天王寺公園内) TEL:06-6771-4874	改修工事のため2023年秋(予定)まで休館 ▶ イベントの詳細や視聴方法はWebでチェック!			
	改修工事のため2023年秋(予定)まで休館 ▶ イベントの詳細や視聴方法はWebでチェック!			
大阪市立 東洋陶磁美術館 大阪市北区中之島1-1-26(中央公会堂東側) TEL:06-6223-0055	改修工事のため2023年秋(予定)まで休館 ▶ イベントの詳細や視聴方法はWebでチェック!			
	改修工事のため2023年秋(予定)まで休館 ▶ イベントの詳細や視聴方法はWebでチェック!			
大阪市博物館機構	改修工事のため2023年秋(予定)まで休館 ▶ イベントの詳細や視聴方法はWebでチェック!			
	改修工事のため2023年秋(予定)まで休館 ▶ イベントの詳細や視聴方法はWebでチェック!			

OSAKA MUSEUMS

「OSAKA MUSEUMS」vol.23 2022年12月10日発行
発行/地方独立行政法人 大阪市博物館機構
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 大阪歴史博物館内
TEL:06-6940-4330(代表)
制作/株式会社ウィルコミュニケーションデザイン研究所

アンケートにご協力ください
抽選でチケットをプレゼント!



OSAKA MUSEUMS

VOL. 23
2023.1→3
TAKE FREE

わからないから、
おもしろい。

ナンジャコレクション

表紙 《百鬼夜行絵巻》(部分) 原在中(1750~1837) 江戸時代 大阪市立美術館蔵(望月信成氏寄贈)



セントウ態勢

これぞ

この瞬間、
もっと知りたい
気持ちが
動き出す。

ナンジャコレクション

見てハテナ?、知って納得!の「ナンジャコレ」な美術品や展示物を各ミュージアムから厳選。何に使われているモノなのか、なぜこのような見た目なのか、いろいろな好奇心を刺激する大阪ミュージアムズならではの誌上コレクションをお楽しみください。

〈双葉温泉浴場 鬼瓦〉

大阪歴史博物館

相撲界で前人未踏の69連勝。この大記録を打ち立てたのは、「相撲の神様」と称される横綱・双葉山です。右目の失明、右手小指の切断というハンディを負いながらも12回の優勝を成し遂げ、国民的英雄として昭和の日本を沸かせました。その圧倒的な強さにあやかっただのが、昭和13(1938)年に大阪市淀川区で開業した「双葉温泉浴場」。名前だけでなく、正面の屋根に双葉山を模した鬼瓦まで配し、庶民が憩うまちの

銭湯として賑わったようです。

双葉温泉浴場の取り壊しの際保存の聲が高まり、大阪歴史博物館に寄贈されたこの鬼瓦。髷の流れや化粧まわしの装飾まで丁寧に表現された造形からは、大阪で発展した瓦技術の高さがうかがえます。また、土俵上に腰を落として相手力士を見据える迫力ある姿からは、職人たちが抱く双葉山への憧れや尊敬の念が感じられます。

銭湯の屋根に長年鎮座してきたまさにセントウ態勢な双葉山の鬼瓦。「何でここに?」という驚きを与えるナンジャコレな歴史的産物ですが、隆々とした筋肉に睨みをきか

せ、今にも立合いがはじまりそうな横綱の風格に、会場に響く大きな声援が聞こえてきそうです。

★7階「近代都市の建設」コーナーにて展示中。



下から見上げたときに迫力が出るように、上半身にボリュームをもたせて作られている。
撮影：酒井一光

深海の生物〈ラブカ〉

大阪市立自然史博物館

日本が「深海」に囲まれていることをご存知ですか? 深海とは一般的に、水深200mを超える太陽の光がほとんど届かない場所を指し、海全体の体積のうち約95%を占めます。この暗闇の中で、生き物たちは独自の戦略で命をつなぎ、生き抜いてきました。例えば、わずかな光を捕えようと巨大な眼を持つもの、自ら発光するもの、水圧に耐えるた

めに浮き袋を脂肪で満たすものまで、さまざまです。エイリアンのようなナンジャコレな姿をしたラブカは、深海ザメの一種。フォーク状の歯が列をなして並ぶこと、口が頭部の先端に開く(他のサメでは頭部の下側に開く)ことなど、古代ザメと共通する特徴を多く持っており、「生きた化石」と言われています。見た目だけでなく、妊娠期間が3年半におよぶといった特殊な生態を持ちますが、生きている姿の観察が難しいため、

生態の大部分は未だ明らかにされていません。大阪市立自然史博物館のラブカの標本はどこか笑っているような表情で、いっそう謎めいた雰囲気となっています。

★2階第3展示室「生命の進化」フロアで展示中。



笑うエイリアン?!



※ラブカが白いのはホルマリン標本が経年変化により褪色したためで、本来は深海に溶け込む暗褐色をしている。

火吹き達磨の見学は
3/31(金)まで
事前電話予約にて
詳しくは
7ページへ

〈火吹き達磨〉

大阪市文化財協会

高さ4.8cmの小さな達磨を手にとってみると、いかめしい名前に反して500円玉程度の軽さ。この達磨、実はよくある置物ではなく、江戸時代に生まれたアイデア商品です。銅製の中は空洞になっており、水を入れて火鉢に入れると、口元の穴から水蒸気がシュンシュン。この水蒸気が炭に当たると化学反応が起こり、少ない燃料でよく燃えるという仕組みになっています。さらに面白いのは水を入れる方法で、穴が針で突いたように小さく、穴から水を注ぐことはできません。ではどうする

熱されて膨張した水蒸気によって水性ガス反応(C(炭素)+H₂O(水)→CO(一酸化炭素)+H₂(水素)等)が起こり、水素と一酸化炭素が炭火から引火して効率よく燃える。

か? 正解は、「一度火にかけてから水中に入れる」。熱して膨張した内部の空気が水中で急冷されることで収縮し、水を吸い込む仕組み。原理が解明されていない江戸時代に化学反応を生活に取り入れていたと考えると驚きです。

火鉢の中で真っ赤になって働く達磨を想像すると、「ナンジャコレ!?!」という新鮮な気持ちとともに、飽きることなく眺めてしまいそうです。



江戸時代の化学の粋

蟹を嗅ぐ?!

びえんこ
〈象牙 蟹形鼻煙壺〉

大阪市立東洋陶磁美術館

清時代(1644~1912)、中国では粉末状のたばこを鼻から吸う“嗅ぎたばこ”が上流階級のあいだで流行し、これを入れて持ち運ぶ鼻煙壺が誕生しました。湿気からたばこの香りを守るために密閉式の蓋付き容器に入れたのがはじまりで、徐々に芸術性が高まり、陶磁器やガラス、玉など多様な素材で作られるように。わずか10cmほどの世界に繊細な絵付けや彫刻など、当時の技術の粋を集約させ、こだわりの逸品を愛好する人が増えてきました。

この蟹形鼻煙壺は甲羅やツメの造形もさることながら、8本脚とツメの関節は動かすことができ、本体もつなぎ目もすべて象牙製と高い技術力が伺えます。丸みを帯びたツメと短い脚はまるで上海蟹のよう。さじの付いた赤い蓋を外し粉末のたばこをすくい出します。蟹は成績優秀のシンボルで、科挙※合格の願いを込めた文人趣味を感じさせる一品。蟹と香りを楽しむ姿を想像すると「ナンジャコレ!」な様子。そのユニークな形状が、一服の喜びをより増していたのかもしれません。

※中国で行われていた官吏登用の採用試験。

★改修工事のため
2023年秋(予定)
まで休館中。



用を足すアート

向井 修二
〈記号化されたトイレ〉

大阪中之島美術館

「ふう、間に合った」と、飛び込んだトイレが一面記号に覆われていたら、何をしに来たか忘れてしまいそう!?こちらは、2023年1月9日まで開催の「すべて未知の世界へー GUTAI 分化と統合」で展示されているインスタレーション作品。館内各所で独創的な具体美術協会の世界を体感することができ、5階男女トイレは元「具体美術協会」会員の向井修二の作品です。彼の制作の特徴は、無意味な記号によってモノの価値を上塗りすること。この作品もすみずみまでモノクロの記号が描かれており、まさに「ナンジャコレ!」な空間です。そしてなんとこの作品、トイレとして使用OK。鏡を覗き込めば自分自身にも記号が映り、あなたも作品の一部に。「抽象芸術って難しい」と構えず、まずは素直に「ナニコレ?」と心動く体験をお楽しみください。

★大阪中之島美術館
国立国際美術館 共同企画
「すべて未知の世界へー GUTAI 分化と統合」
(~1月9日)にて公開。

今回トイレだけでなく、記号に埋め尽くされた菅谷富夫大阪中之島美術館館長の人形も、館内各所に出現する。



旨い飯への情熱

電極式炊飯器〈たからおはち〉

大阪市立科学館

炊き上がったごはんを移しておく「おひつ」のようですが、よく見るとこの「たからおはち」には電源コードが…。実は木製のおひつのような容器の中で電気を通して米を炊く!?という二度見必至の電化製品なのです。

「たからおはち」の内側の底には櫛の歯型の電極2枚が貼り付けられています。そこにお米と水を入れ、水に直接電流を流すことで熱を加え、ごはんを炊くという大胆かつユニークな構造。実は昭和11(1936)年には、既に「電気による炊飯法」として、入れたお米と水に直接

電気を流して炊飯する方法の特許が取られています。「たからおはち」は電極の形を工夫して、昭和22(1947)年に実用新案登録されています。飛行機の計器などを製造していた会社が販売元であることから、戦後に持てる技術と材料で開発・製造されたものと考えられます。ヒーターやIHで加熱する現代の炊飯器とは異なるものの、手間をかけずに速く旨いごはんをとという生活者の思いと開発者の情熱は、昔も今も変わらないのかもしれない。



★1階「家庭の電力消費とエネルギー」コーナーにて展示中。

創造力の化身

はらざいちゆう ひゃっきやぎようえまき
原在中〈百鬼夜行絵巻〉

大阪市立美術館

琵琶が琴を引いたり、頭に鍋のようなものをかぶっていたりと、つい「ナンジャコレ!」とつぶやいてしまう妖怪たち。現存する複数の百鬼夜行絵巻の中で最古と考えられているのが京都・大徳寺の真珠庵が所蔵する通称『真珠庵本』で、大阪市立美術館の百鬼夜行絵巻は、この『真珠庵本』を江戸

時代に京の絵師、原在中(1750~1837)が描き写したものです。

在中の描写は、妖怪たちを軽妙な筆さばきで生き生きと写しており技巧の高さがうかがえます。また『真珠庵本』にアレンジを加えずあえて忠実に写しており、古典に学ぼうとする在中の真摯な



姿勢が感じられます。ここに描かれた妖怪は、鬼、動物、付喪神で、どこかユーモラスで楽しくこの世界を生きている様子。生活用品の妖怪が多いことから、モノを大切にする教えを込めているのかもしれません。

それぞれが何の妖怪かを考えながら見るのも楽しい鑑賞の仕方。ちなみに表紙の妖怪の中に「貴族の靴」が化けたものがありますが、どれかわかりますか? 見つけた

瞬間、「ナンジャコレ!」と言ってしまふこと間違いなしです。

(答えはこのページ右下に!)

★大阪市立美術館は改修工事のため、
2025年春(予定)まで休館中。

★展覧会「美(み)をつくしー
ー大阪市立美術館コレクション」
(2023年3月21日~5月21日)は、
福島県立美術館にて開催予定。



こちらも見どころ

映えな

View

日本の都だった場所を
大きな窓から一望できる！

10階古代フロアから見渡す難波宮跡公園

大阪歴史博物館展示室の最上階、10階の古代フロアに降り立つと、そこには朱色に彩られた奈良時代の難波宮大極殿が。大きな窓の下には難波宮跡公園が広がります。飛鳥時代から奈良時代にかけて、大阪が日本の都であったことを示す遺跡を眺めながら、その正殿に自分が立っているという不思議な感覚をたっぷり味わえます。



学芸員さんから
直接学べる、
役得♡な仕事です

大阪市立自然史博物館

ワークショップを通じて
自然や博物館への好奇心を育てたい。

『大阪自然史センターは大阪市立自然史博物館と協同してさまざまな普及教育事業を展開するNPOです。NPOのスタッフとして、子どもに楽しく学んでもらうためのワークショップやデザインの担当をしています。子どもたちと接していると発想や想像力、集中力に驚かされ、ヒトの多様さを改めて感じます。ワークショップで「ハカセ」として登場いただく学芸員さんから学ぶことも多く、これから一緒に自然を大切にする心を育む体験を子どもたちに伝えていきたいです。』

NPO法人大阪自然史センター
普及教育スタッフ 山中亜希子さん

みんなで作り上げている。
ミュージアムのお仕事

まだある！
ユニークで何か気になる
ミュージアムの
推しなコト。



ミュージアム

お推しごと

大阪歴史博物館



家庭で美術品を長く楽しむには
どうしたらいい？

Q 美術のプロの
保管方法を知りたい

A 美術品の保管に大切なのは温・湿度管理です。美術品の素材の特徴に合わせた温・湿度に調整するのが理想で、日本では絵画で温度：20-22℃、湿度：50-55％が標準的。大阪市立美術館では365日、24時間体制で管理しています。さらに、害虫やカビなどを防ぐために保管環境のモニタリングも行っています。家庭では日光の当たらない、涼しく風通しのよい場所に保管しましょう。除湿剤や防虫香を適宜使用するのも良いですね。

回答担当：弓野 隆之さん(学芸員)

知りたい気持ちに学芸員がお答え！

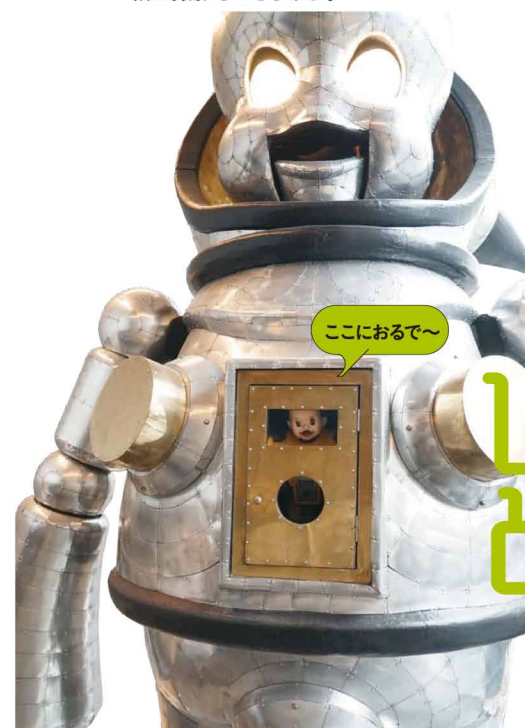
大阪市立美術館

バーコード頭とちょび髭がニクイ
小さなおじさんがこんなところに！

《トラヤン》ヤノベケンジ

大阪中之島美術館の4階に立つ《ジャイアント・トラヤン》の胸の部分をよく見ると、バーコード頭にちょび髭をつけた腹話術人形のキャラクター「トラヤン」が！黄色のミニ・アトムスーツをシュッと着こなし、微笑みを浮かべる「トラヤン」に思わずキュン♪ ちょうど「トラヤン」と目が合う位置になる階段の踊り場で、一緒に撮影もできますよ。

大阪中之島美術館



ここにおで〜

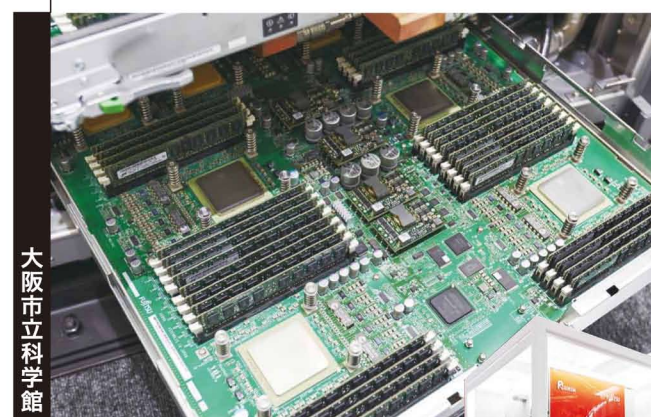
モキュンと

推したくなる！

名作・名品の
ウラ側を
探る！



推しの真相



大阪市立科学館

世界一の計算力で
地球全体のシミュレーションも！

《スーパーコンピュータ 京》

1秒間に1京回(1億の1億倍)の計算ができることから、「京」と名付けられた、理化学研究所計算科学研究センターのスーパーコンピュータ。世界1位の計算能力の速さを記録したこともある当時の姿は、左右24台、前後36台、計864台のシステムラックの集合体で、1台に96個のCPUを備えていました。もちろん、ひとつひとつのCPUの性能もとても高く、この頭脳で地球全体の雲の動きや心臓の拍動など、さまざまな高精度シミュレーションを行い、日本の技術力の高さを世界に知らしめました。7年間の任務を終えた「京」は今、現役の座を「富岳」に渡し、864台のうちの1台が、大阪市立科学館に訪れる皆さんをお迎えしています。



コレはレア！
COLLECTOR'S EYE

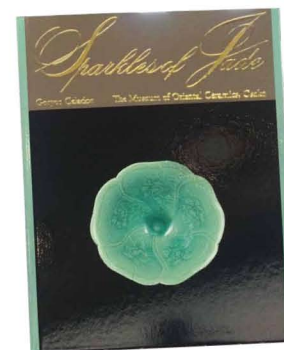
図録とセットのコットンバッグは
単独での購入もOK！

「高麗青磁ーヒスイのきらめき」展覧会図録
※オリジナルコットンバッグ(MOCOバッグ)付
2,500円(税込)

この図録は高麗青磁作品243点を掲載し、ページ数は400ページ超え。持ち帰りしやすいようセットにしたコットンバッグのデザインは、陶磁器の焼成により発生する貫入※をイメージしています。コットンバッグ単独なら500円で購入でき、「高麗青磁」以外の図録とセットの場合も、割引価格の300円で購入できておトクです。現在休館中ですが、グッズはオンラインショップで購入可能！

※焼成後の冷却時に釉薬に生じたひびのこと。

大阪市立東洋陶磁美術館



コレクターズアイ

重い図録の
持ち帰りにぴったり！

詳しくはWebを
チェック！



▶▶ 3ページの〈火吹き達磨〉を展示中(〜3/31(金)まで)

発掘調査によって出土した
大阪の文化財を見ることができる！



〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-6-41
開館時間／9:00～17:00
休館日／土曜・日曜・祝日、年末年始(12/29～1/3)
見学は電話での事前予約をお願いします。
TEL:06-6943-6833

大阪市文化財協会